



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ツムラ

コード番号 4540 URL http://www.tsumura.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 照和

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション室長 (氏名) 磐本 登 (TEL) 03-6361-7100

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 平成25年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	53,398	4.6	10,366	△6.0	10,965	△0.1	7,069	2.7
25年3月期第2四半期	51,048	11.3	11,034	12.2	10,976	10.7	6,884	33.9

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 8,587百万円(31.4%) 25年3月期第2四半期 6,535百万円(18.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	100.24	—
25年3月期第2四半期	97.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	176,441	124,866	69.7
25年3月期	170,466	118,537	68.6

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 122,948百万円 25年3月期 116,994百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	30.00	—	32.00	62.00
26年3月期	—	32.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	32.00	64.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	112,000	6.0	24,700	6.8	25,100	3.2	16,300	6.0	231.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	70,771,662株	25年3月期	70,771,662株
26年3月期2Q	245,801株	25年3月期	245,397株
26年3月期2Q	70,526,054株	25年3月期2Q	70,526,682株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ・経営成績

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日）の売上高は、前年同期に比べ4.6%増の533億9千8百万円となりました。

利益につきましては、営業利益103億6千6百万円（前年同期比6.0%減）、  
 経常利益109億6千5百万円（前年同期比0.1%減）、四半期純利益70億6千9百万円（前年同期比2.7%増）となりました。売上原価率は、生産量増加による効率化が製造原価率改善に寄与したものの、原料生薬の価格上昇の影響等により前年同期に比べ1.3ポイント上昇しました。販売費及び一般管理費は、販売関連費用の増加等により前年同期に比べ15億1千8百万円の増加となり、販管費率は0.9ポイント上昇しました。これらの結果として、営業利益率は19.4%（前年同期比2.2ポイント低下）となりました。

（注）為替変動による連結決算上の内部取引差額の影響で、売上高が9億3千8百万円増加しております。

#### ・医療用漢方製剤の概況

医療用漢方製剤全体の売上高は、前年同期に比べ3.2%伸長しました。

営業施策としては、医師への訪問・面談活動を強化し、各種の漢方医学セミナーや講演会・研究会、医療機関説明会、臨床研修指定病院における研修医対象の勉強会等の積極的な開催を通じて、漢方医学及び漢方製剤に関する情報提供の拡充を図っております。

また、育薬処方である「大建中湯」「六君子湯」「抑肝散」「牛車腎気丸」「半夏瀉心湯」につきましては、多施設二重盲検群間比較試験等による臨床研究とその効果を裏付ける薬物動態試験や基礎研究等が進み、有効性及び安全性について質の高いエビデンスが確立されつつあります。各種学会や論文での研究成果の発表に加え、医薬情報担当者を通じた、エビデンスに基づくプロモーション活動を展開する中、各専門領域での漢方製剤に対する評価は着実に高まっています。

当社は今後とも、国内の患者様が、どの医療機関・診療科においても、必要に応じて“漢方”を取り入れた治療を受けられる医療現場の実現に貢献するとともに、新生産技術の導入等による「コスト構造改革」を進め、収益力の強化を図ってまいります。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は以下のとおりであります。

総資産は、一部の原料生薬の価格上昇及び為替の影響等によるたな卸資産の増加及び設備投資による有形固定資産の増加等により前連結会計年度末に比べて59億7千4百万円増加し、  
 1,764億4千1百万円となりました。

負債は、未払金の減少等により前連結会計年度末に比べて3億5千4百万円減少し、  
 515億7千5百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて63億2千9百万円増加し、1,248億6千6百万円となり、自己資本比率は1.1ポイント上昇して69.7%となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、19億4千2百万円の収入となりました。前年同期間との比較では、一部の原料生薬の戦略的調達を意図した支出の増加等により17億3千7百万円減少しております。

投資活動によるキャッシュ・フローは、33億5千6百万円の支出となりました。前年同期間との比較では、有形固定資産の取得による支出が減少したこと等により8億7千7百万円支出が減少しております。

財務活動によるキャッシュ・フローは、22億9千8百万円の支出となりました。前年同期間との比較では、配当金の支払額が増加したこと等により1億5千5百万円支出が増加しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて30億円減少し、107億6千2百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月9日に公表しました平成26年3月期の連結業績予想に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(原価差異の繰延処理)

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産(その他)として繰り延べております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,793	10,792
受取手形及び売掛金	37,199	36,237
商品及び製品	6,862	8,252
仕掛品	8,351	9,111
原材料及び貯蔵品	20,351	23,256
その他	7,973	10,842
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	94,527	98,488
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	47,944	51,739
その他	59,855	60,169
減価償却累計額	△57,142	△59,572
有形固定資産合計	50,657	52,335
無形固定資産		
	235	214
投資その他の資産		
投資有価証券	21,361	21,543
その他	3,688	3,863
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	25,045	25,402
固定資産合計	75,939	77,953
資産合計	170,466	176,441
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,954	3,769
短期借入金	21,957	21,957
未払法人税等	4,222	3,800
返品調整引当金	9	8
その他	13,338	12,313
流動負債合計	42,480	41,849
固定負債		
退職給付引当金	2,055	1,846
その他	7,392	7,878
固定負債合計	9,448	9,725
負債合計	51,929	51,575

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,487	19,487
資本剰余金	1,940	1,940
利益剰余金	90,397	95,210
自己株式	△385	△386
株主資本合計	111,440	116,251
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,394	3,509
繰延ヘッジ損益	987	23
土地再評価差額金	1,984	1,984
為替換算調整勘定	△812	1,179
その他の包括利益累計額合計	5,554	6,696
少数株主持分	1,542	1,918
純資産合計	118,537	124,866
負債純資産合計	170,466	176,441

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	51,048	53,398
売上原価	17,096	18,595
売上総利益	33,951	34,802
販売費及び一般管理費	22,917	24,435
営業利益	11,034	10,366
営業外収益		
受取利息	23	28
受取配当金	158	167
為替差益	—	437
その他	124	130
営業外収益合計	306	764
営業外費用		
支払利息	106	96
持分法による投資損失	10	4
為替差損	240	—
その他	7	63
営業外費用合計	364	165
経常利益	10,976	10,965
特別利益		
固定資産売却益	0	2
特別利益合計	0	2
特別損失		
固定資産除却損	47	38
投資有価証券評価損	19	—
特別損失合計	67	38
税金等調整前四半期純利益	10,908	10,930
法人税等	3,955	3,787
少数株主損益調整前四半期純利益	6,953	7,142
少数株主利益	68	72
四半期純利益	6,884	7,069



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,953	7,142
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△294	114
繰延ヘッジ損益	△472	△964
為替換算調整勘定	341	2,233
持分法適用会社に対する持分相当額	6	61
その他の包括利益合計	△418	1,445
四半期包括利益	6,535	8,587
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,422	8,211
少数株主に係る四半期包括利益	112	375

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	10,908	10,930
減価償却費	1,973	2,280
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	0
受取利息及び受取配当金	△181	△196
支払利息	106	96
持分法による投資損益 (△は益)	10	4
有形固定資産除売却損益 (△は益)	30	22
売上債権の増減額 (△は増加)	122	1,001
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,769	△3,722
仕入債務の増減額 (△は減少)	△451	685
有価証券及び投資有価証券評価損益 (△は益)	19	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	41	△208
その他	140	△4,927
小計	8,950	5,965
利息及び配当金の受取額	200	219
利息の支払額	△109	△100
法人税等の支払額	△5,360	△4,142
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,680	1,942
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,999	△3,371
有形固定資産の売却による収入	0	29
無形固定資産の取得による支出	△32	△3
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△205	△5
貸付けによる支出	△2	△5
貸付金の回収による収入	5	4
定期預金の預入による支出	△19	△23
定期預金の払戻による収入	24	24
その他	△5	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,233	△3,356
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△2,113	△2,256
少数株主への配当金の支払額	△14	△26
その他	△14	△14
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,143	△2,298
現金及び現金同等物に係る換算差額	224	712
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,472	△3,000
現金及び現金同等物の期首残高	13,906	13,762
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,434	10,762

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。